

## 2025 年度第 2 回支部集会【中国支部】

主催: 公益社団法人日本語教育学会

日時 : 2026 年 2 月 22 日(日) 16:30~19:05(受付開始 16:00~)

会場 : オンライン(Zoom)

参加費 : 500 円 (マイページ事前参加登録にてお支払いください) 定員 : 100 名

事前参加登録期間 : 2026 年 1 月 15 日(木)~2 月 16 日(月)

※ 本イベントへのご参加には事前登録が必要です。日本語教育学会会員以外の方(非会員)もお気軽にご参加ください。[日本語教育学会マイページ](#)から事前参加登録をお願いします。

※ 事前参加登録をお済ませになるとマイページより予稿集をダウンロードできます。事前参加登録された方には開催週にメールにて当日の詳しい参加方法等を別途ご案内いたします。

※ 問合先: 公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

e-mail: shibu@nkg.or.jp TEL: 03-3262-4291(平日 9~18 時のみ)

### ◆支部集会日程◆

16:00	受付開始
16:30~16:35	開会あいさつ
16:35~16:55	口頭発表(1 件)
17:00~19:00	講演 「生成 AI で深まる言語教育」 講師: 李在鎬氏(早稲田大学大学院日本語教育研究科教授)
19:00~19:05	閉会あいさつ

#### 【16:30~16:35】 開会あいさつ

#### 【16:35~16:55】 口頭発表

※本発表は査読審査を経た学会発表です。発表要旨は本プログラム p.3、詳細はマイページよりダウンロードできる予稿集原稿をご覧ください。オンライン開催では 1 週間前からご案内する口頭発表用資料を各自で事前にご覧いただき、当日のZoomでは発表者と質疑応答をいたします。

#### 16:35~16:55 「トルクメン人大学生の外国語習得分析 — 複言語環境でのロシア語を対象として — 」

Dadayeva Maysa (ダダエヴァ マイサ、筑波大学大学院生)



【17:00-19:00】 講演

題 目：「生成 AI で深まる言語教育」

講 師：李在鎬氏(早稲田大学大学院日本語教育研究科教授)

**講演趣旨**

近年、生成 AI の加速的な進展が、言語の学習にも教育にも多大なる影響をもたらしています。教育現場では AI 活用の可能性を探りながら、一方で教師自身が AI とどのような距離感で向き合うべきかといった課題に、明確な答を見いだせないまま手探りの状態が続いています。

講師の李在鎬氏は、AI と言語教育の領域で非常に早い段階から先鋭的な研究を進めてこられた第一人者です。本講演では、生成 AI は学習者の言語使用を可視化し、個別最適化された学習・フィードバックを可能にする一方で、依存や批判的思考の低下も懸念されることを踏まえながら、生成 AI が言語教育をいかに深化させ得るか、その可能性と課題を検討したいと思います。

本講演が、言語教育に関わる参加者にとって、日々の授業実践で感じている悩みや迷いを整理し、「AI とどう共生するか」を深く考える機会となることを期待しています。

【19:00-19:05】 閉会あいさつ



〔2025 年度第 2 回支部集会（中国支部）口頭発表〕

トルクメン人大学生の外国語習得分析  
—複言語環境でのロシア語を対象として—

Dadayeva Maysa

本研究は、トルクメニスタンの大学生を対象に外国語習得のメカニズムを分析したものである。特に、トルクメン語学校を卒業し、家庭や友人との会話で主にトルクメン語を使用しながらも、ロシア語を流暢に習得している学習者に焦点を当てている。

研究では、103 人のトルクメン人大学生を対象にロシア語能力テストとアンケート調査を実施し、さらに「流暢」レベルの 4 人にインタビューを行った。結果、ロシア語が流暢な学習者は日常生活で平均 58.6%のロシア語インプットを受けていたのに対し、基礎レベルの学習者は 33.6%に留まっていた。

重要な発見として、学校教育ではなく視聴覚メディア（映画、アニメ、テレビ）を通じたインプットが言語習得の主要因であることが明らかになった。この結果は Krashen の「理解可能なインプット仮説」を支持し、発話環境が限られていても、質の高いインプットが十分にあれば言語習得が可能であることを示唆している。

Dadayeva—筑波大学大学院生

